

吉田寮に入寮しよう

文責：吉田寮自治会

このパンフを読んで吉田寮に興味があった、もっと寮について知りたい、入寮したいと思ったそのあなた！！ 今思っていないくても急に思うかもしれないその君！！
どうやったら入寮できるか知りたいと思いませんか？そこで入寮までの流れを手短かに説明します。

①必要な書類を書く

②面接を受ける(3/10～3/17 or 3/23,24 各日 10時-13時, 14時-17時)

③合格ならヤッタね！入寮

※①入寮願を書き、経済書類と顔写真を持参しましょう(ない場合後日でも構いません)

※②担当の寮生が吉田寮で面接を行うので寮に足を運んでください。

※③合否はメールにて連絡します。

上に書いた手順でちゃんと入寮できます。ただ、京大から送られてくるやったね袋や入学関係書類などに「吉田寮には入寮できません」といった内容の紙が入っています。あなたはこの紙を見て、吉田寮に入ることを躊躇ってしまうかもしれません。しかしこれは大学が一方的な決定を文書にしているだけで寮自治会との合意がなく、事実にもそぐわない部分もあります。過去このような入寮募集をやめるような要請は大学ホームページで数年前から掲載されていましたがこの紙が配られるようになったのは6年前のことです。しかし、その間にも吉田寮に入った人は多くいます。また現在、吉田寮の現棟と食堂は大学当局から明渡を求める訴訟を起こされていますが、入寮募集は新棟に限って行われるので、入寮したとしても今回の訴訟とは全く関係がないので大丈夫です。私たちの願いは、この紙を見て、

吉田寮に入ることを諦めないでほしい

ということです。せっかく吉田寮に興味を持ってくれたのにこのような形で入寮をあきらめるのは非常に残念です。とにかく不安や疑問があれば一緒に解決していきましょう。

「吉田寮って入れないんじゃないの？」

「大学にダメって言われたよ？」

「親にも反対されるかも…」

こんな不安を少しでも感じたらぜひ私たちに直接聞いてみてください。入寮の際にリスクはないか、昨今の「退去期限」、訴訟問題は結局どうなっているのかなど、直接来てもメールを送ってもらっても構いません。保護者の方が質問していただいても構いません。吉田寮のHPやTwitterでも情報を発信しています。これを読んでいる皆さんが少しでも吉田寮のことを知ってくれれば嬉しいな。

ご注意ください！**吉田寮（学生寄宿舍）には入舎（入寮）できません**

ご入学おめでとうございます。

実家が遠方で、実家から京都大学に通学できないみなさんは、民間住居（ワンルームマンション等）や大学が設置する学生寄宿舍（学生寮）を入学後の住居として考えておられるかと思いません。

本学でも学生寄宿舍（学生寮）を設置していますが、表題にありますとおり、吉田寮への入舎（入寮）はできませんのでご注意ください。

現在、京都大学では、築後 100 年以上を経過した吉田寮現棟は耐震性を著しく欠き、大地震が発生した場合に倒壊等するおそれがある危険な現状にあることから、「吉田寮生の安全確保についての基本方針」を決定・公表しているところです。この基本方針により、①新規入寮は認めない、②既に吉田寮に入舎している学生のみなさんには、吉田寮から退舎してもらうこととしています。基本方針の詳細は大学ホームページをご覧くださいいただければと存じます。

このことから、みなさんが入学されてから以降、万が一、吉田寮に居住しようとしたことがありましたら、大学としては不法占拠と見なされるを得なくなります。そのような事態になることは大学としても避けたいですので、このたびの大学の基本方針の決定・実施にご理解賜りますようお願いいたします。

本学が設置する他の学生寄宿舍（※）への入舎、又は民間住居を探される等の手配をお願いいたします。

【参考】

吉田寮生の安全確保についての基本方針

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/events/news/office/kyoiku-suishin-gakusei-shien/kosei/news/2017/171219_1.html



※ 本学では他に学部学生が入舎できる学生寄宿舍として「熊野寮」を設置しています。（本学ホームページ「住まい・食と購買」）

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/campuslife/Life>



なお、熊野寮の一部は、中核派系全学連の関係先のひとつとされ、警察による強制捜査（直近では平成 29 年 10 月 31 日）が行われたことがあります。

(図) 京都大学は受験で合格した人たちにこんな紙をことあるごとに配ってきます。

端的に言うところの情報ほうそになります。吉田寮には入寮できます。

吉田寮「退去期限」問題

このパンフレットを読んでいる皆さんの中には、各種報道で吉田寮の居住を巡る問題について、耳にしている方もいるかもしれません。

・2016 年以降京大経営陣は、これまで 30 年近く続いてきた吉田寮自治会との公開の場での話し合いを、一方的に拒否するようになりました。そして 2017 年、吉田寮生に何らの相談もないまま「全寮生に寮を立ち退いてもらう」「新規の入寮募集はしない」と発表しました。

・しかし「吉田寮の運営」で説明したように、吉田寮に関する重大な決定は、最大の当事者である吉田寮生との合意抜きに行ってはなりません。私たちは両者の歩み寄りのためにもまずは話し合うことを求めましたが、経営陣は意見のすり合わせすら拒み、全員退去の結論のみを押し付け続けています。こうした強硬姿勢の背景には、学生の権利や福利厚生を縮小する大学経営陣の方針が伺われ、他の学生や大学教員、地域住民からも批判の声が高まっています。

・現在も吉田寮には約 100 名の寮生が居住し、2017 年以降も多くの学生が入寮しています。誰しもがもつ学ぶ権利を守るため、私たちは吉田寮を自治運営し必要とする人々に向け寮を開き続けています。

・この問題についての詳しい情報や、私たちの主張、大学経営陣とのやり取りについては、以下のサイトに掲載しています。また何か疑問や質問があればいつでも聞いてください。

